

CI-NET導入事例

- 社内システムとクラウドサービスを連携させた、
注文から出来高・請求・支払いまでの電子商取引事例 -

三井デザインテック株式会社

三井デザインテック 

目次

1. 会社概要
2. 三井デザインテックについて
3. スペースデザイン事業部の業務内容
4. 電子商取引導入の目的
5. 電子商取引システム選定
6. 電子商取引の適用業務(注文業務)
7. 電子商取引の適用業務(支払業務)
8. 実施状況・効果
9. CI-NET導入にあたり苦勞した点(工夫した点)
10. 実施体制
11. スケジュール
12. 今後について

1. 会社概要

- ◆ 商号 : 三井デザインテック株式会社
- ◆ 所在 : 東京都港区芝三丁目2番18号 NBF芝公園ビル
- ◆ 設立 : 昭和55年4月1日 (現社名への商号変更: 平成元年4月1日)
- ◆ 資本金 : 5億円
- ◆ 売上高 : 309億円 (平成27年度実績)
- ◆ 従業員数 : 381名 (平成28年4月1日現在)
- ◆ 事業拠点 :

北海道・東北地区	北海道 宮城県	札幌市東区 仙台市若林区
関東地区	東京都 神奈川県	港区芝 (本社) 他6拠点 横浜市西区
中部地区	愛知県	名古屋市西区
近畿地区	大阪府	大阪市中央区 (関西支店) ショールーム
中国地区	広島県	広島市中区
九州地区	福岡県	福岡市博多区
- ◆ 主要取引先 : 三井不動産グループ各社
ゼネコン・デベロッパー・ホテル・個人 他

ひとが生活するすべての空間を創造いたします。

2

三井デザインテック

2. 三井デザインテックについて

「人が生活するすべての空間をデザインします」



オフィス

ビル

商業

医療・福祉

ホテル

住まい

空間総合プロデュース事業

- オフィス、ビル、店舗、ショールーム、ホテル、医療・福祉施設等
建築空間の新築、リニューアル、入居・移転に関する企画・デザイン・設計・施工
- マンション・戸建 住宅に関するインテリアデザイン関連の
企画提案及び商品コーディネート
- コンサルティング/デザイン 企画からマーケティング、デザイン

三井デザインテックは三井不動産グループです

三井デザインテック

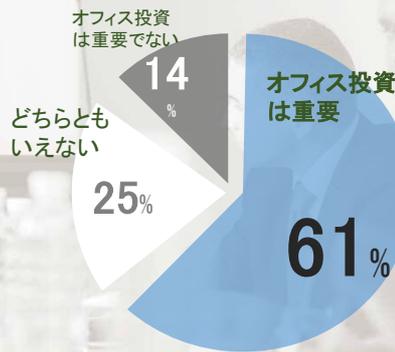
3. スペースデザイン事業の業務内容

■ 建築空間の新築、リニューアル入居・移転に関する企画・デザイン・設計・施工をトータルコストマネジメントまでOne Stopで対応、「理想」を「カタチ」にします。

業績が向上している企業は「オフィス投資」を重要と考えている。

オフィス環境の向上が、仕事の成果に大きな影響を与える

投資重要度(経営者)



三井デザインテック

4. 電子商取引導入の目的

コンプライアンスの実現

- ・ 工事着工前の契約(発注書の発行～請求書の回収)
- ・ 工事完了後50日以内支払(末日締め翌月20日支払)

➤ 電子商取引導入前のメリット確認

- ・ 発注書・受注書の郵送リードタイム省略
- ・ 受注書回収管理の省略(出来高支払まで連動させた場合)
- ・ 請求書の郵送リードタイムの省略
- ・ 出来高・請求データの社内システムへ登録業務の効率化
- ・ 契約書、請求書ペーパーレスによる文書保存業務及び保管スペースの削減
- ・ 郵送料の削減(システムランニングコストと相殺)
- ・ 印紙税額の削減(業者サイド、システムランニングコストと相殺、)

ひとが生活するすべての空間を創造いたします。

5

三井デザインテック

5. 電子商取引システム選定

◆ A案-社内システムへ電子商取引プログラム構築

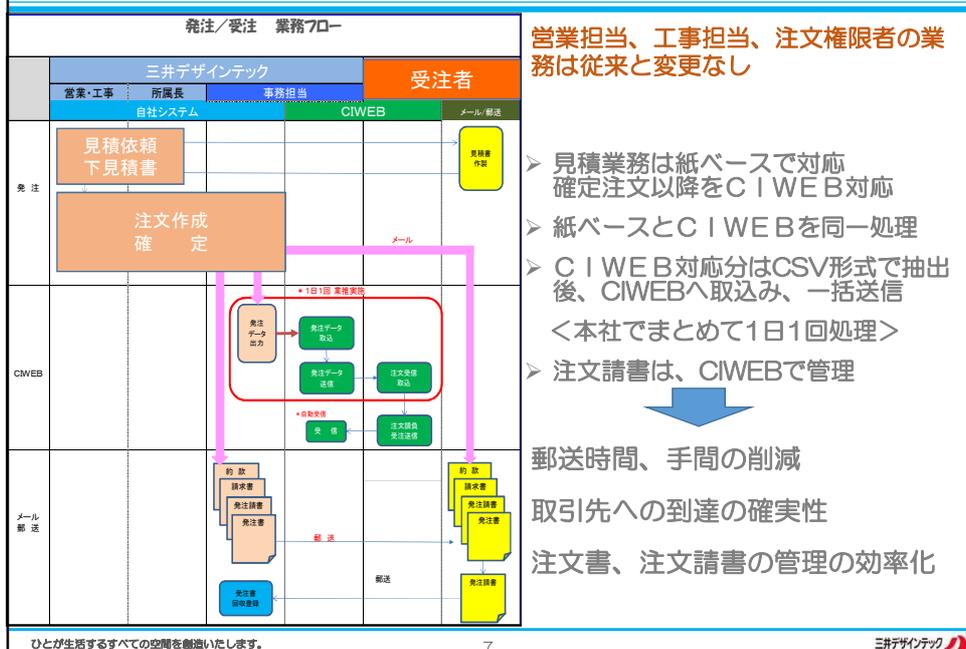
- ・事業に合わせ業務効率化を図るシステム構築が可能
- ・システム構築に多額な費用と開発に時間がかかる
- ・建設業法改定等の対応に不安（システム改良コストや体制）

◆ B案-建設業界標準CI-NET クラウドサービス (CIWEB)

- ・プログラム構築コストがかからない
- ・短期間で運用開始できる
- ・建設業法改定等への対応が不要（建設業界標準）
- ・クラウドサービスとの連携は疎結合対応
- ・既に参加済の取引先が多く展開しやすい
- ・操作講習、運用サポート体制が確立されている

*** 社内システムを業務処理の基軸として
CI-NET クラウドサービス(CIWEB)を選定**

6. 電子商取引の適用業務（注文業務）



9. CI-NET導入にあたり工夫した点（苦労した点）

➤ 社内システムとCI-NETとの調整

- ・ 社内システムとCI-NETの相違点对應設計に時間が必要（定義、桁数、文字 他）
- ・ 社内の運用ルールの再設定（内部統制基準）

➤ 各拠点の事務担当者の処理方法の多様化

- ・ 従来の紙ベースとEDI方式の2通りが存在（業務量は、増加と減少の両面）
- ・ 業務フローの明確化（導入前の早い段階より説明協力依頼）
- ・ 注文業務と支払業務の2段階に分けて運用開始（CEC.COMの立会い）

➤ 新規に電子商取引へ導入する取引先への対応

- ・ 取引先への新規加入キャンペーンを実施（CEC.COMも協力）

➤ 取引先の理解度が重要

- ・ 支払業務のトリガーは取引先が保有（CI-NET運用中の取引先が約60%）
- ・ コンプライアンス（CI-NET）への取組み、具体的内容を段階的に説明
- ・ CI-NETの諸手続きの時間を考慮したスケジュールを設定
- ・ 三井デザインテックの業務に対応した個別説明会の開催（CEC.COMサポート）

10. 実施体制

◆ CI-NET利用部署：17ヶ所

- 注文業務：業務推進室（1日1回CIWEB送信実施）
- 出来高・請求・支払業務：各拠点で担当分だけ进行处理

◆ 各拠点の事務担当者への説明

- 操作マニュアルを整備
業務フロー
社内システムとCIWEBの操作
- トラブル事例
内容と対応策

◆ 導入後の評価

- 事務担当者の声
 - ・ 注文、支払業務は楽になった
 - ・ 全て電子取引にしたい

CIWEBマニュアル	
目次	
A. 業務フロー	D. CEC.COM基本運用マニュアル、CIWEBのシステム導入と運用体制
1. CIWEB（申込・受注）	1. CIWEB基本運用体制の構築
2. CIWEB（支払）	2. CIWEB基本運用体制の運用体制
B. CEC.COM、EDI、EDI2、主要業務の連携	3. CIWEB基本運用体制、EDI2の活用
1. CIWEBとEDI2の連携	4. CIWEB基本運用体制、EDI2の活用
2. CIWEBとEDI2の連携（EDI2の活用）	5. CIWEB基本運用体制、EDI2の活用
3. CIWEBとEDI2の連携（EDI2の活用）	6. 支払業務
4. 現場作業の連携（EDI2の活用）	7. 支払業務の連携（EDI2の活用）
5. 現場作業の連携（EDI2の活用）	8. 支払業務の連携（EDI2の活用）
6. 現場作業の連携（EDI2の活用）	9. 支払業務の連携（EDI2の活用）
7. 現場作業の連携（EDI2の活用）	10. CIWEB基本運用体制の運用体制
8. 現場作業の連携（EDI2の活用）	11. CIWEB基本運用体制の運用体制
9. 現場作業の連携（EDI2の活用）	12. CIWEB基本運用体制の運用体制
10. CIWEB基本運用体制の運用体制	13. CIWEB基本運用体制の運用体制
11. CIWEB基本運用体制の運用体制	14. 支払業務の連携（EDI2の活用）
12. CIWEB基本運用体制の運用体制	15. 支払業務の連携（EDI2の活用）
13. CIWEB基本運用体制の運用体制	16. 支払業務の連携（EDI2の活用）
14. 支払業務の連携（EDI2の活用）	17. 支払業務の連携（EDI2の活用）
15. 支払業務の連携（EDI2の活用）	
16. 支払業務の連携（EDI2の活用）	
17. 支払業務の連携（EDI2の活用）	

MITSUI Designtec

ご清聴ありがとうございました。